

令和4年度(第11期)事業報告

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

公益社団法人沖縄県農林水産団体共済会は、令和4年度事業計画における基本方針および事業実施計画に基づき、公益目的事業(退職金共済事業、福祉事業)、その他の事業(退職資金給付事業、療養見舞金、厚生事業費、福利貸付金)を実施しました。各事業の実施状況を以下のとおり報告します。

I. 事業の実施状況

1. 公益目的事業

(1) 退職金共済事業(共済制度)

本事業は、所得税法施行令第73条に基づく退職金給付に関する事業です。

① 会員数および被共済者数

会員(加入事業主)数は、前年度と同数の59団体となりました。被共済者(職員)の人数は、新規採用等により151人増加した一方、退職等により211人減少し、令和4年度期末で2,650人と前年度より60人減少しました。

| | 期首 | 増加 | 減少 | 期末 | 増減 |
|-----------|-------|-----|-----|-------|-----|
| 会員数(団体) | 59 | — | — | 59 | — |
| 被共済者人数(人) | 2,710 | 151 | 211 | 2,650 | △60 |

② 会員からの積立掛金(年間)

会員が積立てた年間掛金は前年度比2,100万円減少し5億9,100万円となりました。

| | 令和4年度 | 令和3年度 | 増減 |
|----------|-------|-------|-----|
| 掛金額(百万円) | 591 | 612 | △21 |

③ 退職者に給付した退職給付金

被共済者の退職等により給付した退職給付金は、前年度より29人多い211人、給付金額は1億900万円増加の9億3,700万円の実績となりました。内訳は定年退職が68人、自己都合が140人、死亡退職が3人でした。

| | 令和4年度 | 令和3年度 | 増減 |
|-----------|-------|-------|------|
| 給付人数(人) | 211 | 182 | +29 |
| 給付金額(百万円) | 937 | 828 | +109 |

④ 給付還元の状況

給付還元は、会員から受け入れた掛金に対し毎年度一定の利息を付加しており、これは積立掛金とともに退職金支払の原資となるものです。令和4年度は事業計画どおり付加利率で1.1%、金額で8,900万円を付加し責任準備金に繰入れました。

| | 令和4年度 | 令和3年度 | 増減 |
|-----------|-------|-------|----|
| 付加利率(%) | 1.1 | 1.1 | — |
| 付加金額(百万円) | 89 | 91 | △2 |

⑤ 責任準備金の状況

令和4年度期末の被共済者2,650人に対し、今後の退職給付金の給付に備えるための給付責任準備金は81億4,700万円となり、前年度より2億5,700万円減少しました。責任準備金残高のうち会員が積立てた掛金額は68億4,600万円、本会が利息相当として付加してきた額の累計は13億100万円となりました。

| | 令和4年度 | 令和3年度 | 増減 |
|---------------|---------|---------|--------|
| 準備金額(百万円) | 8,147 | 8,404 | △257 |
| （積立掛金） | (6,846) | (6,985) | (△139) |
| （付加金） | (1,301) | (1,419) | (△118) |
| 被共済者人数(人) | 2,650 | 2,710 | △60 |
| 1人当たり準備金額(千円) | 3,074 | 3,101 | △27 |

(2) 地域住民福祉事業

本事業は、沖縄県内の社会福祉を担う会員および諸組織の活動を資金面から支援を行う事業です。令和4年度の実施状況は以下のとおりです。

① 助成金

会員が主催又は共催する地域住民に対する健康診断に係る経費の一部助成として、25,000円を支給しました。

② 災害復旧・復興を支援する義援金等の寄付

令和4年度の実施はありませんでした。

③ 福祉施設、福祉団体等への金品等の寄贈

沖縄県下の援助を必要とする子どもたちへの支援や地域社会福祉の向上を目的として資金面からの支援を継続して実施しており、令和4年度は児童養護施設や子

どもの貧困対策組織、社会福祉法人等 19 団体へ計 392 万円を寄贈しました。

| 寄付目的 | 分類 | 施設・団体名 |
|-----------------|------------|--|
| 施設に入居する児童に対する支援 | 児童養護施設 | 偕生会「石嶺児童園」 基督教児童福祉会「愛隣園」 県社会福祉事業団「漲水学園」 袋中園「青雲寮」 国際福祉会「美さと児童園」 豊友会「島添の丘」 ひんぷん会「なごみ」 紺碧の会「ならさ」 |
| 遺児への学資等の支援 | 公益法人 | (公財)漁船海難遺児育英会 (公財)沖縄県交通遺児育英会 |
| 施設利用者に対する支援 | 視覚・知的障害者施設 | 沖縄県視覚障害者福祉協会「沖縄点字図書館」 |
| 法人の活動全般に対する支援 | 社会福祉関係団体 | 沖縄県共同募金会 日本赤十字社沖縄県支部 |
| | 救急医療支援団体 | NPO 法人メッシュ・サポート |
| | 生活支援団体 | NPO 法人にじのはしファンド |
| | 食糧支援団体 | NPO法人フードバンクセカンドハーベスト沖縄 (公財)沖縄県労働者福祉基金協会 |
| | 教育支援団体 | NPO 法人エンカレッジ |
| 沖縄子どもの貧困対策 | 沖縄県主体組織 | 沖縄子どもの未来県民会議 |

2. その他の事業（相互扶助事業）

(1) 施設退職金共済事業（施設制度）

本事業は、共済制度を補完するもう一つの退職金事業であり、会員の退職給付引当金および役員退職慰労引当金の財源を積み立てることを目的としております。

① 会員数および被共済者数

会員数は前年と同数の 61 団体となりました。被共済者の人数(役職員)は、新規採用等により職員 151 人、役員 25 人、併せて 176 人増加した一方、退職等により職員 214 人、役員 16 人、併せて 230 人減少しました。結果、令和4年度期末で 2,762

人となり前年度より 54 人減少しました。

| | 期首 | 増加 | 減少 | 期末 | 増減 |
|-----------|---------|-------|-------|---------|-------|
| 会員数(団体) | 61 | — | — | 61 | — |
| 被共済者人数(人) | 2,816 | 176 | 230 | 2,762 | △54 |
| (職員数) | (2,741) | (151) | (214) | (2,678) | (△63) |
| (役員数) | (75) | (25) | (16) | (84) | (+9) |

② 会員からの積立掛金（年間）

会員が積立てた掛金は前年度より 1,000 万円減少し 2 億 1,900 万円となりました。

| | 令和 4 年度 | 令和 3 年度 | 増減 |
|----------|---------|---------|-----|
| 掛金額(百万円) | 219 | 229 | △10 |

③ 会員に給付した退職資金給付金

被共済者の退職等に伴い会員へ給付した退職資金給付金は人数で 230 人となり、金額で 3 億 1,200 万円となりました。前年度と比べ人数で 34 人増加し給付金額も 5,100 万円増加しました。

| | 令和 4 年度 | 令和 3 年度 | 増減 |
|-----------|---------|---------|-------|
| 給付人数(人) | 230 | 196 | +34 |
| (職員) | (214) | (183) | (+31) |
| (役員) | (16) | (13) | (+ 3) |
| 給付金額(百万円) | 312 | 261 | +51 |
| (職員) | (268) | (235) | (+33) |
| (役員) | (44) | (26) | (+18) |

④ 給付還元の状況

給付還元は、会員から受け入れた掛金に対し毎年度一定の利息を付加しており、これは掛金とともに会員の退職資金支払の原資となるものです。令和4年度は事業計画どおり付加利率で 0.7%、金額で 1,600 万円を付加し、責任準備金に繰入れました。

| | 令和 4 年度 | 令和 3 年度 | 増減 |
|-----------|---------|---------|----|
| 付加利率(%) | 0.7 | 0.7 | — |
| 付加金額(百万円) | 16 | 17 | △1 |

⑤ 責任準備金の状況

令和4年度期末の被共済者 2,762 人に対して今後の支給に備えるための退職資金準備金は 23 億 3,200 万円となり、前年度より 7,700 万円減少しました。責任準備金のうち会員が積立てた積立掛金は 20 億 7,400 万円、本会が利息相当として付加してきた額の累計は 2 億 5,800 万円となりました。

| | 令和4年度 | 令和3年度 | 増減 |
|---------------|---------|---------|-------|
| 準備金額(百万円) | 2,332 | 2,409 | △77 |
| （積立掛金） | (2,074) | (2,120) | (△46) |
| （付加金） | (258) | (289) | (△31) |
| 被共済者人数(人) | 2,762 | 2,816 | △54 |
| 1人当たり準備金額(千円) | 844 | 856 | △12 |

(2) 福利事業（施設制度）

本事業は、被共済者（職員）の生活の安定および福利の向上を目的に次のことを行っております。

① 被共済者への療養見舞金

1泊2日以上入院療養をされた被共済者に対し見舞金を支給しました。令和4年度は件数 77 件、223 万円の支給実績となりました。前年度と比べて件数、金額ともに減少しました。

| | 令和4年度 | 令和3年度 | 増減 |
|---------------|-------|-------|------|
| 支給件数(件) | 77 | 81 | △4 |
| 支給金額(千円) | 2,234 | 2,372 | △138 |
| 1件当たり支給金額(千円) | 29 | 29 | - |

② 福利厚生及び文化活動等助成

会員が実施する福利厚生および文化活動等に対して助成金を支給しました。今年度は件数 2 件、金額 5 万円の助成を行いました。

③ 福利貸付金

被共済者に対して生活および教育等の福利厚生に必要な資金を融資しており、令和4年度期末現在 507 人の被共済者が利用しています。貸付金残高は件数 974 件、金額 9 億 4,400 万円となりました。

(次ページの表を参照)

福利貸付金

| | | 令和4年度 | 令和3年度 | 増減 |
|---------|---------|-------|-------|-----|
| 件数(件) | 新規 | 233 | 200 | +33 |
| | 完済 | 278 | 342 | △64 |
| | 期末 | 974 | 1,019 | △45 |
| 金額(百万円) | 新規 | 312 | 272 | +40 |
| | 償還 | 390 | 384 | +6 |
| | 残高 | 944 | 1,022 | △78 |
| | (貸倒引当金) | △1 | △2 | +1 |
| | (控除後残高) | 943 | 1,020 | △77 |

Ⅱ. 運用資産の状況

1. 資産の状況

運用資産は前年度より3億8,500万円減少の112億8,600万円となりました。

(単位：百万円、%)

| | 令和4年度 | | 令和3年度 | | 増減 | |
|--------|--------|-------|--------|-------|------|------|
| | 残高 | 構成比 | 残高 | 構成比 | 残高 | 構成比 |
| 普通預金 | 276 | 2.4 | 307 | 2.6 | △31 | △0.2 |
| 債券 ※ | 1,904 | 16.9 | 2,415 | 20.7 | △511 | △3.8 |
| 投資信託 | 863 | 7.6 | 702 | 6.0 | +161 | +1.6 |
| 退職年金共済 | 6,099 | 54.0 | 6,026 | 51.6 | +73 | +2.4 |
| 優先出資証券 | 1,200 | 10.6 | 1,200 | 10.3 | - | +0.3 |
| 福利貸付金 | 943 | 8.5 | 1,020 | 8.8 | △77 | △0.3 |
| 合計 | 11,286 | 100.0 | 11,670 | 100.0 | △385 | - |

※1 満期保有目的の債券は取得価額、その他有価証券は市場価格のあるものについては時価評価額している。

※2 普通預金は特定資産に分類された金額を記載している。

2. 運用利回りの状況

運用利回りは前年度より0.026%高い1.305%となりました。

(単位：百万円、%)

| 年度 | 令和4年度 | 令和3年度 | 増減 |
|----------|--------|--------|--------|
| 平均残高 | 11,191 | 11,492 | △301 |
| 運用収益 | 146 | 147 | △1 |
| 運用利回り(%) | 1.305 | 1.279 | +0.026 |

※ 運用利回りは、分母は運用資産の平均残高、分子は有価証券等の利息・配当金、売却損益から直接経費を差引いた金額(準備金繰入、福祉事業及び福利事業費は除く)として計算している。

Ⅲ. 決算の状況

1. 経常収益

経常収益は法人全体で9億6,800万円となり、前年度より3,500万円減少しました。

(単位：百万円)

| 会計別 | 公益目的事業 | 収益事業等 | 法人 | 合計 |
|---------|--------|-------|----|-------|
| 受取掛金 | 591 | 219 | - | 810 |
| 有価証券利息等 | 123 | 13 | 7 | 143 |
| 福利貸付金利息 | - | 14 | - | 14 |
| その他収益 | 1 | - | - | 1 |
| 令和4年度 | 714 | 247 | 7 | 968 |
| 令和3年度 | 738 | 258 | 7 | 1,004 |
| 増減 | △24 | △11 | - | △35 |

2. 経常費用

経常費用は法人全体で9億8,000万円となり、前年度より3千3百万円減少しました。

(次ページの表を参照)

(単位：百万円)

| 会計別 | 公益目的事業 | 収益事業等 | 法人 | 合計 |
|---------|--------|-------|----|-------|
| 退職金共済事業 | 691 | 236 | - | 927 |
| 福祉事業 | 4 | - | - | 4 |
| 福利事業 | - | 2 | - | 2 |
| 管理費 | 32 | 8 | 7 | 47 |
| 令和4年度 | 727 | 246 | 7 | 980 |
| 令和3年度 | 748 | 257 | 7 | 1,013 |
| 増減 | △21 | △11 | - | △33 |

3. その他損益

その他保有目的の債券及び投資信託の時価評価額が前年度より値下がりしたことから、4,500万円の評価損となりました。

4. 正味財産

正味財産は法人全体で8億700万円となり、前年度より5,700万円減少しました。

(単位：百万円)

| 会計別 | 公益目的事業 | 収益事業等 | 法人 | 合計 |
|-------|--------|-------|----|-----|
| 令和4年度 | 114 | 604 | 89 | 807 |
| 令和3年度 | 172 | 603 | 89 | 864 |
| 増減 | △58 | +1 | - | △57 |

IV. 組織運営・管理の状況

1. 機関運営

① 各機関の運営状況は次のとおりです。(詳細はV. 主要処理事項を参照)

| 機関名 | 社員総会 | 理事会 | 監事(監査) | 会計監査人(監査) |
|-----|------|-----|--------|-----------|
| 開催数 | 1回 | 5回 | 2回 | 2回 |

② 理事・監事改選に伴う変更登記の実施、所管する行政庁へ役員変更および定期提出書類について遅滞なく届出を行いました。

2. 業務執行態勢

(1) 資金運用管理

- ① 理事会で承認された「令和4年度資金運用方針書」に基づき運用管理を行いました。
- ② リスク管理について、毎月の頻度で保有債券等の時価情報の取得・分析を行い、報告書を作成、本会設置の「資金運用会議」にて定期的に報告を行いました。
- ③ 「資金運用会議」において、半期毎の資金運用報告書および翌年度の資金運用方針書を策定し、理事会にてそれぞれ報告および提案を行いました。

(2) 財産管理

各事業担当者、出納担当者、決裁者間で逐次に相互確認を行う態勢を整え、適正な財産管理に努めました。

(3) 情報管理

- ① 「個人情報等保護方針」にもとづき個人情報の適正な取扱いに努めました。
- ② 情報システム上の個人データ保護のため、IT管理者を置き、ハードウェアおよびソフトウェアのメンテナンス等を随時行い、適切な運用に努めました。
- ③ 本会職員に対して個人情報の取扱いに関する教育を実施しました。

(4) 役職員の状況

役員は、常勤が1名(代表理事)と非常勤が8名(理事6名、監事2名)の合計9名、事務局は、職員が4名の体制です。

3. 加入推進・情報公開

- ① 加入推進は、ホームページへ事業案内の掲載を行いました。
- ② 情報公開は、令和3年度の事業報告等必要な資料を本会事務所内での閲覧に供したほか、広く閲覧できるよう本会ホームページに資料を掲載しました。

※ 金額欄の数字は円単位で計算し表示単位未満を四捨五入して表示しています。そのため合計が合わない場合があります。